

久野 すが子

ひさの

寝屋川市議会議員 無所属

活動ニュース



「みんなが主役」の
街づくり

ねやがわ

【発行】ひさのすがこ後援会【発行責任者】小林佑介

寝屋川市御幸西町 25-14-301 TEL: 090-2554-3185 メールアドレス: sugako55@yc4.so-net.ne.jp

エッセンシャルワーカーの皆様 に感謝して活動を進めます

こんにちは。市議会議員の久野すが子です。年始は例年になく寒い日が続きました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、医療のひっ迫と飲食店などへの影響が増す中、更なる公的な支援が必要となってきます。

ワクチン接種について

政府が発表したワクチンの接種については2月下旬から開始され、3週間の期間を空けて計2回接種します。12月25日の情報によると、約5千万人分を優先し、その内訳は、最優先が医療従事者400万人、2番目に65歳以上の高齢者3,600万人、3番目に20～64歳で肥満(BMI=30以上)を含む基礎疾患がある人820万人と高齢者施設で利用者に接する職員200万人、ワクチンの供給量に応じて60～64歳750万人と推定。(最新情報については厚生労働省のホームページをチェックをお願いします。)順次接種が行われますが自治体の体制がキーとなります。早く接種したくてもできない人、優先者でも接種に消極的な方もおられると思います。

また、各国で優先順位が異なるようで、CDC(米国疾病予防管理センター)では食料品関係や教師などの労働者を優先という指針案も出ています。引き続きお一人おひとりの感染対策をよろしくお願いします。

※詳しい情報や最新情報は厚生労働省 HP ご確認ください (キーワード) [新型コロナワクチンについて](#) | [厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)



寝屋川市12月議会での

新型コロナウイルス関連予算 (予算総額: 約7億円)

1) 感染拡大防止への支援金 等 *市独自*

- 水道料金基本料金2ヵ月免除

お問合せ先: 上下水道局経営総務課 072-824-1177

- 新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者への支援金 (感染者3万円/一人、濃厚接触者1万円/世帯)
- 児童生徒等が2週間の学校休業となった場合の支援金 (1万円/世帯)
- 医療・介護訪問B型活動員慰労金 (日数等条件あり) (3万円/1人)

2) PCR検査拡充・医療助成など

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)等の従業員の定期的なPCR検査実施

- PCR外来への交通手段確保が難しい市民の自宅採取の検体を市独自で収集 *市独自*
- 市PCR外来での1日あたりのPCR検査数拡充
- 増加が見込まれるPCR検査自己負担分への助成
- 感染症患者移送委託料の追加補正
- 感染拡大に伴いPCR行政検査手数料の追加補正
- 感染症患者医療費負担金への助成の追加補正

3) 医療・介護施設等の活動継続への対策・支援

- 介護施設等における簡易陰圧装置・換気設備への補助
- 発熱外来の利用できる医療用陰圧テント購入 *市独自*
- 市役所本庁の臨時事務用テントの購入など *市独自* (窓口閉鎖時でも最小限の事務設備を整備)

新型コロナウイルス感染症対策室 072-829-1210

令和2年12月議会報告

日程：11月31日～12月18日（19日間）

◎報告案件3件

- ・高齢者施設及び障害者施設における介助用手袋購入などの先決処分 等



◎議案30件

- ・人権擁護委員の推薦2件
- ・指定管理者の指定、補正予算など12件
- ・第六次総合計画基本構想の策定 など

◎各常任委員会

- ・総務都市創造 付託10件（+予算）
- ・健康福祉 付託8件（+予算）
- ・文教生活 付託12件（+予算）

◎一般質問 16名

◎意見書（議員提案） 3件

- ・犯罪被害者支援の拡充を求める意見書
- ・不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
- ・住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書

【一般質問で行政に問う！】

1 ひきこもり支援

- 問** 相談件数と訪問件数の推移は。
- 答** 令和2年度11月末現在で相談延べ数が278件、訪問延べ数が44件と増加傾向にある。
- 問** 進路不決定者や高校・大学中退者の把握や支援は。
- 答** 全数の把握は困難だが、若年層への支援について、教育委員会とも連携してサポートしている。
- 問** 8050問題等へ「ことわらない」支援体制はどうか。
- 答** 相談を受けた際、当事者・家族が孤立することなく、信頼関係を築けるよう支援を継続していく。
- 問**暮らしを全部見る視点で組織を包括して取り組む自治体も増えてきたが、出口も見据えた市の考えは。
- 答** 深刻な問題と認識しており、多くの人に関わらないと解決しないと考える。問題に対し市から1つの処方箋を発信できるような取り組みも検討したい。

2 GIGAスクール構想などの学校施策

- 問** タブレットを扱う上での個人差への対応は。
- 答** 個人差についてはマニュアルを配付し、個人的な指導を行い個人差を埋める。
- 問** 教職員による使われ方の違いや指導スキルについては。
- 答** 臨時休校時や不登校対応、選択校制利用時のオンライン授業で使用。今後その実績をもとに端末を持ち帰っての家庭学習についても他市に先行した取り組みを行う。教職員のスキル差は、研修を実施し指導助言等を通して効果的な指導法を習得するし、個々の資質向上に努める。
- 問** 平成15年を最後に校区問題審議会が行われていない。更なる少子化での生徒数の減少により、学校の効率的な運営や学びの担保が果たせるのか。高位平準化のため、有識者・専門家・地域を交えて論議すべきでは。
- 答** 今後、児童生徒の推移やまちづくりの状況を見極め検討する。（中学校における温かい給食については4ページに掲載）

3 受動喫煙防止

- 問** 受動喫煙防止条例が10月1日に施行されたが状況は。
- 答** 市内4駅周辺の路上禁止区域内の巡回を週3回11時～18時に実施。今後、駅利用客が多い時間帯に変更予定。路上喫煙者は日々着実に減少している。
- 問** 職員の市役所周辺での喫煙については。
- 答** 公務の信用に影響を与えることを認識して行動しなければならないと考える。
- 問** 今年度中止になった小学4年生を対象としたニコチン検査は来年度実施するのか。また子育て中の喫煙者に対する喫煙外来への補助は。
- 答** 来年度実施に向けて検討。禁煙外来への補助は先行事例において、申請者が少なく慎重に検討する必要がある。

4 駅周辺のまちづくり

- 問** 萱島周辺はポテンシャルエリアと考える。千里丘寝屋川線の門真市側は用地確保が進んでいるが、安全面も鑑み寝屋川市側の早期着手を望むが見解は。
- 答** 府には継続事業化を早期に図るよう、毎年度要望を行っている。北河内の発展に大きく寄与する道路であり、必要性は認識している。また安全対策については、枚方土木事務所に都度要請行う。
- 問** 萱島駅の北側、南側の整備は。また駅の公衆トイレの改修を切に望むが見解は。
- 答** 北側の整備計画はない。南側ロータリーの再整備は安全や利便性が高まると考える。萱島讃良線は対馬江大利線事業に続いて駅周辺を含め着手を考える。その時にトイレも併せて検討する。

5 市役所の窓口運営など

- 問** 効率面や全体最適を鑑みて、平日の延長開庁を週1回程にはできないのか。
- 答** 4～10月の延長時間帯の利用者は延べ5000人超なので、週1回だと市民ニーズに応えられない。
- 問** 月に一度程度の日曜開庁を望む声を聴くが。
- 答** 利用状況の精査や市民ニーズを踏まえ検討する。



ワガネヤガワまちづくり報告

<特集> 常任委員会での視察について

令和元年度・令和2年度と当選以来2年連続で「総務都市創造常任委員会」委員を拝命しております。

毎年10月頃に管外（市外）の視察を行います。今年度は新型コロナウイルス感染症対策により視察は管内（市内）とさせていただきました。

1 寝屋川公園駅前線（令和2年10月開通）

JR寝屋川公園駅から第二京阪道路をつなぐ幹線道路がようやく完成しました。道路脇にはスーパー、ドラッグストア、健康公園、現在病院も建設中です。今後の駅前周辺発展の糸口になることに期待します。

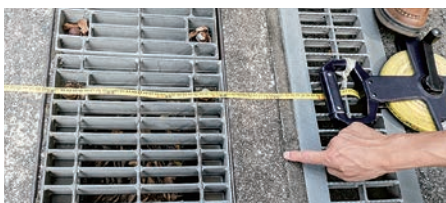


なお、上記写真の駅前方面への十字路口については、信号がまだ設置されておらず警察に要請中です。横断の際は十分ご注意ください。（車の際もお気をつけ下さい）



2 密集住宅施策対象地域（香里地区）

市内の密集住宅に指定されている3地区のうちの1つになります。火事などの災害が起きた際の燃え移りや消防車が入れない道路の対策です。補助金等の政策で住宅の建て替え、セットバック等で道幅や空間を確保していきます。視察の中でも、住民の皆様の協力もあり進捗が



みられました。

◀道路幅確保のための、マンションのセットバック状況確認の様子。



3 香里浄水場

現在は浄水場としては稼働していません。（平成26年度休止）別棟で日々特殊な検査機にて水質調査を行っています。管理棟には、被災した中央図書館の本の仮置き場として、また遺跡調査の発掘物などの管理状況の確認をおこないました。



4 木屋取水場（淀川）

淀川から香里浄水場への水の取り込み口として機能してきました。現在も開いた状態にあり（左下の写真）、水道施設の看板が掲げられるなど管理されています。





ワガネヤガワまちづくり報告

学校給食について（中学校の温かい給食への実現とその背景）

給食が冷たい・おいしくない

令和元年度の報告（右記事）で、中学校の給食について報告してまいりましたが、給食導入以来、残渣率（食べ残し）が非常に多いことを受け、市では中学生にアンケートを実施しました。並行して市議会でも試食を繰り返し、原因について検討を行いました。結果、小学生の時は自校で食缶方式で教室で取り分けるという形式だったのに中学生になるといきなりお弁当形式へ。分量の調節もできず、そして温かくない（＝冷たい）ことが一番の原因であると分かりました。

週に2度、メインのおかずを温かく

温かい給食を実現するため週に2度、メインを温かい食缶でとりわけのおかずの導入を行いました。それについては大変好評で、温かいおかずの品数や回数増加などの要望がありましたが、コスト面からもこの状態で増やすことは困難ということから、抜本的な計画が代案として提案されました。

拡大親子方式の給食で温かい給食が・・・

現在は給食業者2社へ委託しているが令和4年で契約満了となります。その機に小学校も巻き込む「拡大親子方式」の給食の提案です。拡大親子方式とは・・・

5校の中学校は近隣の小学校で調理して食缶で中学校に運搬します。あとの7校については楠根小学校敷地内に集中して作る調理場を併設しそこで調理して食缶で中学校に運搬します。中学校では小学校の時のように教室で配膳をします。

12月からメインが温かくなった中学校給食☺

大満足とはいわないまでも以前に比べればかなり良くなりました。しばらくは様子を見ていきます。



▲昨年の久野すが子活動ニュース Vol.2 で掲載

給食センターは？ 自校式は？

給食センターの検討もありましたが、給食を作って市内どこでも運搬できる場所は、工業地域に指定されていなければならないと定められています。楠根小学校は準工業地域にありそれを実現できます。

私としては、突然の提案に自校式や地域への理解についての道も探りましたが、時間的な課題と少子化を吸収するコスト面と効率面において今回の方式に至ることになりました。

小中一貫校は？

については令和5年度開校予定の第四中学校区の施設一体型小中一貫校についても給食室は作らず、小学校・中学校とも集中方式（楠根小学校での一括調理）という計画が出て参りました。

当初予定していたスペースは地域交流のエリアを作り地域とのコミュニケーションを図る場となる予定です。

すが子とまわる ワガネヤガワのまちかど



対馬江大和線工事は令和7年供用開始にむけ計画を仕切り直しました。



寝屋川周辺を訪問バトロール、坂を下りてビバホーム近くの交差点は渋滞緩和が課題。



寝屋川公園近くの打上方面を訪問バトロール。今後の子育て世代の転入に期待。寝屋川公園の活性化などがキーとなります。



京阪沿線萱島方面にむかって寝屋川の橋から。萱島周辺の整備は重要施策と考えます。

地域問題や市民相談 お気軽にお電話ください!!

家庭や地域でおこる道路・環境問題、教育問題・住宅問題など、どんな小さなことでも結構です。ひとりで悩まず、お気軽にお申しつけください。一緒に考え解決していきましょう。

090-2554-3185

相続の相談が増えています

「人生100年時代」「大相続時代」相続は大きな資産を手にする大きなライフイベントですが、その法的手続きは複雑で、本来助け合うべき家族が共同相続人となると利害対立者となり「相続」が「争続」になってしまうケースが増加しているようです。ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。ケースに応じて専門家にもおつなぎいたします。

